

モニタリング項目 No. 19（適正利用に向けた管理・取組状況調査）の実施結果

概要	モニタリング項目 No. 19（適正利用に向けた管理・取組状況調査）は、知床における適正利用の基本方針である知床エコツーリズム戦略に基づいた管理や取組状況を把握し、評価することを目的とした調査。
調査手法	「知床エコツーリズム戦略 9. 具体的方策」を実現するための関係機関の管理と取組の実施状況を、直近の知床白書である2024年（令和6年）度版から抽出し、その結果を、「知床エコツーリズム戦略 9. 具体的方策」の項目ごとに列挙して整理した。
調査者	1次調査者 松田 隆聖（知床財団） 2次調査者 坂部 皆子（知床財団）

○2024 年度知床白書

エコツアーリズム戦略 9. 具体的方策	2024 年度（R6）			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
（1） 利用コントロール 自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。	継/変 1999-	カムイワッカ地区マイカー規制の実施（8/9-8/18）	P. 61, 67	10 日間
	継 2011-	知床五湖利用調整地区制度の運用	P. 61	約7 カ月間
	継 2011-	硫黄山登山道路特例使用	P. 13	5/31-10/1
	継 2021-	カムイワッカ湯の滝利活用検討事業（7/1-9/30）	P. 65, 66	92 日間
（2） 守るべきルールの設定と指導 自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。	継 1984-	知床岬の利用規制に関する申し合わせの行政機関合同巡視	P. 84	92 日間 1,666 人日
	継 2008-	先端部地区利用の心得の普及	P. 84	
	継	スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り	P. 85	
	継	ヒグマ管理計画に基づく各種対策の実施	P. 25	
	継	羅臼湖ルールの普及	P. 83	
（3） 情報の発信 地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。	継	カムイワッカ地区の補助員配置	P. 84	記載なし
	継	管理機関による巡視	P. 9-	
	継/変 2022-	知床しゃりアクティビティサポートセンターの設立	10, 85	
	継 2017-	ヒグマ管理計画に基づく情報周知	P. 25, 80	
	継	Web やパンフレット等を通じた普及啓発	P. 75-	
	継	利用施設等での情報提供、情報発信	76, 78-81, 83	
	継	携帯トイレの普及（リフレットの作成）	P. 80	
（4） ガイドの育成とガイドの利用推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継	ヒグマ管理計画に基づく各種対策の実施	P. 28, 76, 83	
	継 2020-	「知床ディスタンス！キャンペーン」の実施	P. 59, 83	
	継	カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成	P. 79	
	継	インパウンド向けヒグマ注意喚起看板の設置	P. 83	
（4） ガイドの育成とガイドの利用推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継 2021-	羅臼町陸と海のシレココ・プロジェクト	P. 75	記載なし
	新	知床しゃりアクティビティサポートセンターによるリスク情報の発信		
	継 2008-	厳冬期の知床五湖エコツアー事業の実施	P. 64, 85	
（4） ガイドの育成とガイドの利用推奨 ガイドの育成が行われ、ガイド利用が推奨されているか。	継 2010-	知床五湖登録引率者の育成・登録	P. 61, 80	14 事業所 30 名登録
	継 2021-	カムイワッカ湯の滝利活用検討事業による試行事業引率者の育成・登録	P. 65, 66	36 名登録 25 名登録

エコツーリズム戦略 9. 具体的方策	2024年度（R6）			
	新規/継続	内容	白書掲載頁	備考
（5）文化的資産等の活用 保全に留意しながら文化的資産等が活用されているか。	継 継 継	「しれとこ森づくりの道」の運用 「しれとこ森の集い（植樹祭）」 「森づくりワークショップ（秋）」	P. 51 P. 51 P. 51	2,422人 172人 7人
（6）利益の還元 観光利用によって得られた利益が地域の自然や社会に還元されているか。	継 2008- 継 2020- 継 2013-	厳冬期の知床五湖エコツアーの実施 「クマ活」「町内会草刈りイベント」など住民主導のヒグマ対策の実施 知床ウトロ海域環境保全協議会の取組	P. 61 P. 52 P. 72	57日 3,813人 6日間
（7）施設整備 年次計画による計画的な施設整備が行われているか。	継 継 2021- 継 2021- 継 2020- 継 2020- 継 2015- 新	知床連山登山道保全管理 羅臼岳岩尾別登山道保全管理 仮設トイレの設置（知床峠、カムイワッカ湯の滝等） 羅臼温泉園地事業 知床公園線災害防除事業（カムイワッカ） 相泊地区治山工事(2015) 北海道東トレイル全線開通	P. 25, 84 P. 25, 84 P. 13, 84 P. 17 P. 19, 103, 105 P19, 95 記載なし	
（8）モニタリング 観光客の評価（満足度や感想など）やニーズ、行動特性の変化等がモニタリングされているか。	継 2004- 継 2011- 継 2012- 継 2015- 継 2023-	知床国立公園の利用状況調査 知床先端部地区の利用実態調査 羅臼湖歩道植生モニタリング 登山道のし尿の状況調査 流水観測用定点カメラの設置	P. 24, 53-57 P. 24, 69 P. 24 P. 84 P. 15	

凡例

新：新規の取組

継：継続的に実施されている取組

変：過去にも実施されているが、大きな変化があった取組

		2010年度 (H22)	2011年度 (H23)	2012年度 (H24)	2013年度 (H25)	2014年度 (H26)	2015年度 (H27)	2016年度 (H28)	2017年度 (H29)	2018年度 (H30)	2019年度 (R1)	2020年度 (R2)	2021年度 (R3)	2022年度 (R4)	2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	
(1) 翻用コントロール	カムイワッカ地区マイカー規制の実施(1999)	70日間 →					25日間 →	→	30日間 →	25日間 →	25日間 →	10日間 (コロナ短縮) →	13日間 (コロナ短縮) →	10日間 (コロナ短縮) →	29日間 →	10日間 →	
	自然環境の保全、観光客の安全確保、原始性の保持、付加価値の向上等の目的に応じた利用コントロールが実施されているか。											【開始】→ 3日間、3,068人日	3日間、2,475人日	3日間、1,780人日	→終了		
	知床オータムバスデイズ (ホロベツ地区からのマイカー規制社会実験)						→	→	改定実験 →	→	→	→	→	→	→	→	
	知床五湖利用調整地区制度(2011)	実証実験 →	開始									→	→	→	→	→	
	硫黄山登山道特例使用(2011)		開始				96日間 →	→	100日間 →	→	→	→	→	→約7か月間	→4か月間	→4か月間	
カムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用試行事業													開始	→短縮	→見直し延長	→試行最終年	
その他							・スカイバスツアーの実施 (22日間)								・繁忙期路線バス 増便(9日間)	・繁忙期路線バス 増便(5日間)	
(2) 守るべきルールの設定と指導	知床岬の利用規制に関する申し合わせの行政機関合同巡視(1984)		→	→	→	→	→		→	→	→	→	→	→	→	→	
	スノーモービル、航空機乗入れ規制の巡視・取締り	→	→	→	→	→	→		→	→	→	→	→	→	→	→	
	自然環境の保全、観光客の安全確保、地域の文化・生活への配慮等の目的に応じたルールが設定されているか。また、それらのルールの指導が行われているか。							ホエール・パートウオウ チンク勉強会		→	→			・知床羅臼ヒグマク ルーズ船協議会発足 ・自主ルール策定			
	羅臼海域の利用適正化に向けた取組(2009)								→	→							
	適正利用・エコツアーリズム検討会議(2010)	設置 →						→	→	→	→	→	見直し協議 →	見直し協議 →	見直し協議 →	見直し協議 →	
	先端部地区利用の心得							点検 →		改訂 →	→	→	→	→	→	→	
	国立公園の利用のあり方懇談会(2017)								設置 →	→		↓					
	国立公園の利用のあり方に関する行政間会議(2019)											開始	→終了				
	ヒグマ保護管理方針検討会議(2010)	設置 →						点検・見直し →		↓							
	ヒグマ保護管理方針に基づく安全対策の実施(2012)								↓								
	ヒグマ管理計画に基づく各種対策の実施(2017)									第1期開始	→	→	→	見直し協議 →	第2期開始 →	→	
	カムイワッカ地区の監視員配置	140人日 →						66日間 →		66日間 →	→	→	79日間 →	75日間 →	75日間 →	93日間 →	92日間 →
	エコツアーリズムガイドラインの運用									→	→	→	→	→	→	→	記載なし
羅臼湖ルールの普及									→	→	→	→	→	→	→	→	
岩尾別等におけるヒグマ渋滞・カメラマン対策									自主ルールの運用 →		→		自然公園法改正 →	接近禁止ルール化 →	→	→	
管理機関による巡視	1,891人日 →	→	→	→	→	→	2,426人日 →	→	1,900人日 →	2,150人日 →	1,837人日 →	2,185人日 →	2,335人日 →	2,235人日 →	2,015人日 →	1,799人日	
その他							・北海道知床世 界自然遺産条 例の制定		・第3期多利用型統 合的・海域管理計 画の策定					・知床アクティビティ リスク協議会設立	・知床アクティビティ リスク協議会による 最終報告	・知床しゃりアクティビティ サポートセンターの設立	
(3) 情報の発信	Webやパンフレット等を通じた普及啓発	→					→		→	→	→	→	→	→	→	→	
	地域主体のエコツアーの増加や守るべきルールの周知を目的とした情報発信が行われているか。								→	→	→	→	→	→	→	→	
	利用施設等での情報提供、情報発信	→					→		→	→	→	→	→	→	→	→	
	携帯トイレの普及(リーフレットの作成)	→					→		→	→	→	→	→	→	→	→	
	ヒグマ注意喚起メールの配信、チラシの作成						→		→	→	→	→	→	→	→	→	
	ヒグマ保護管理方針に基づく情報周知(2012)			開始			→		↓								
	ヒグマ管理計画に基づく情報周知(2017)								開始	→	→	→	→	→	→	→	
	ヒグマ餌やり禁止キャンペーンの実施(2013)				開始		→		→	→	→	→	↓		→	→	
	「知床ディスタンス！キャンペーン」(2020)						→		→	→	→	→	開始	→	→	→	
	外国人旅行者向け情報発信の強化事業の実施(2015)							開始 →		→	解散	知床情報玉手箱 の運用 →	→	→	→	→	記載なし
インバウンド受け入れ体制の底上げ事業										→	→	→	→	→	→	→	
カムイワッカ・シャトルバスに関するチラシの作成									開始 →	→	→	→	→	→	→	→	
その他							・知床自然遺産 登録5周年記念 事業の実施 ・先端部地区利用 の心得普及のため のwebサイトの作成		・知床自然遺産 登録10周年記 念事業の実施		・寄付金を活用しヒ グマ情報をレク チャーやwebにて発 信 ・日本語＋英語表 記の登山道マップ 販売		・「知床らうす・海 のハンドブック」販 売開始(羅臼 海域連絡協議会)	・羅臼町「陸と海 のシルココ・プロジェ クト」開始	・長期モニタリング総 合評価の結果報告・ 公開シンポジウム 開催	・ヒグマ注意喚起看 板(多言語版含む) の設置	・シルココプロジェクトの WEBサイトの構築 ・知床しゃりアクティビティ サポートセンターによるリ スク情報発信

